

第2期中期経営五ヶ年計画のための事業評価シート

継続事業 8-1

【一般社団法人ばんえい競馬馬主協会】

＜計画年度：令和4年度～令和8年度＞

事業名	競馬普及啓発事業	定款条項	第4条第1項第1号事業【ばんえい競馬の普及啓発及び地域振興に関する事】	評価年月	令和3年10月
-----	----------	------	-------------------------------------	------	---------

事業運営方針	○十勝・帯広の観光資源であるばんえい競馬の普及啓発とファン誘致を通じて、地域振興に資するための事業を行う。			
本計画の目標	1 観光資源であるばんえい競馬の普及啓発とファン誘致推進	3 冠競走の充実によりレースの質の向上とファン拡大		
	2 ばんえい競馬の楽しみ方を多くのファンに伝え勝馬投票券の発売促進	4 ばんえい十勝の情報発信や広報活動などプロモーションの充実		
具体的な取組み	1 カレンダー・招待券等無償配布(会員、関係団体、地元企業等へ配布)	3 当協会冠競走の褒賞(賞状、副賞の提供⇒年4レース)		
	2 競馬場等におけるイベント開催(JRAジョッキードAY等)	4 ホームページ等で情報発信(ばんえい競馬トピックス情報、当協会の活動内容)		

◎過去五ヶ年の事業費の推移(正味財産ベース) (単位:千円)

区分	年度	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)
経常収益		0	0	0	0	0
内訳						
経常費用		5,699	6,624	4,383	3,210	3,760
内訳	普及啓発事業費	1,082	1,299	997	500	280
	事業管理費	4,617	5,325	3,386	2,710	3,480
当期経常増減額		△5,699	△6,624	△4,383	△3,210	△3,760
他会計振替額		5,671	6,597	4,369	3,210	3,760
当期一般正味財産増減額		△28	△27	△14	0	0
一般正味財産期首残高		69	41	14	0	0
正味財産期末残高		41	14	0	0	0

◎本事業の現状と課題等

【現状】 ①当協会設立の目的は、ばんえい競馬の発展と地域振興に寄与することであり、昨年、今年と新型コロナウイルス感染症防止対策により、一部の事業が中止を余儀なくされる中、形を変えるなど出来る限り工夫して継続的に実施していくことが重要なことから、関係団体等とも連携を図りながら課題の克服に向け取り組んでいる。	【課題】 ①人的資源は限られ、事業運営には機動的で柔軟な対応が難しい。 ②コロナ収束までは、実施できない事業もある。 ③平時においては常に費用対効果と継続性を意識した視点が必要。
--	--

◎本事業の今後の方向性等(見直し改善案等)

【方向性】 ①ばんえい競馬の主催者や広報委託会社をはじめ、地域と関係諸団体が一体となり連携を緊密に図りながら効率的な広報業務や競馬の普及啓発に努めるなどの補完的な活動を継続して行く。 ②当協会冠競走のレース数を堅持(現行4レース) ③ホームページを活用した情報提供の充実。 ④新規馬主確保の推進。	【見直し改善(案)】 ①イベント内容等事業、予算規模を検討。(同様・拡大・縮小) ②ホームページのリニューアル等を検討
--	---

◎評価基準

A 現行の事業規模・同内容で継続する	必要性	◎
B 現行の事業規模を拡大し、同内容で継続する	妥当性	○
C 現行の事業規模を拡大し、内容を見直して継続する	有効性	△
D 現行の事業規模を縮小し、同内容で継続する	効率性	△
E 現行の事業規模を縮小し、内容を見直して継続する	公平性	○
F 現行の事業内容を見直して継続する	予算規模	○
G この事業は目的を達成したので廃止又は休止する	執行体制	△

【総合評価・意見等】

当該事業については、基本的にはこれまで同様継続するべきだが、当協会の財政状況も見極めながら毎年予算規模については、見直しながら実施するべきである。冠競走については、現行同様4レースで継続する。

判定
A